

株式会社 三栄金属製作所

社長 文敬作さん

金型、プレス加工、樹脂成型で
一貫生産を実現！
お客様が価値を見出す商品をこれからも

2020年「はばたく中小企業・小規模事業者300社」に
選ばれました！！

三栄金属製作所は、排水口に取り付ける金具など、水まわりに使われる商品を主力とした会社だ。こうした商品を一貫生産するには、設計、金型、プレス、樹脂加工、バフ研磨まで、各工程で人の手が必要になる。町工場は後継者や人手不足に悩むこともあるが、同社は10年以上前からベトナムからの研修生・技術者を迎え入れ、育てることで、多くの社員と共に業績を伸ばしてきた。「社員あっての会社。みんなにやりがいを持って気持ちよく働いてほしい。」と話す社長の文さんは、努力が結果に結びつくような人事評価を行ったり、社員と一緒にボランティア活動に参加し、地域との関係を築いてきた。その甲斐あって、離職率は低く、外国籍の社員も、結婚してマイホームを建てたり、定住者や永住者となり夢を叶えていっている。



うちではベトナムの方が
たくさん活躍してくれています！
みんなに夢を持ってほしい。
独立していく人も、
継続して働いてくれる人も、
ずっと応援していきます！

同社が生産
している
水まわり
商品の一部 ▶



同社は信頼関係を一番に優先したいとの思いから「業種」社からの受注としているが、取引が狭まることはない。一貫生産できる同社の強みを生かして、魅力ある商品を提案してきた結果、日々たくさんの注文が舞い込む。現在、国内7拠点とベトナム1拠点の工場が忙しく稼働中だ。



▲ 家族のように和気あいあいとした雰囲気職場

株式会社 アックスヤマザキ

代表取締役 山崎一史さん
取締役 山崎寛之さん

ミシンをもっと気軽に簡単に！



▲ (左)兄 山崎一史さん
(右)弟 山崎寛之さん

株式会社アックスヤマザキは、昭和21年創業の家庭用ミシンを製造する専門メーカーだ。需要が減り続けるミシン業界で、家業を引き継いだ兄弟がたどり着いたのは、もっと身近なミシン。「難しそう」「場所をとる」など、ミシンに抱く概念を取っ払った商品を作り出した。

『毛糸ミシンふわもこHug(ハグ)』は、こどもでも楽しく安全に使えるおもちゃミシン。

『子育てにちょうどいいミシン』は、忙しい子育ての合間に、パッと出せてサッと作れるようにと、機能はシンプルだ。時代に合ったこれらのミシンは、コロナ禍で多くのメディアに取り上げられ注文が殺到した。

毛糸ミシン
ふわもこHug ▶



▲ 『子育てにちょうどいいミシン』
本棚に入るほどコンパクトでスタイリッシュなデザイン。スマホを見ながら操作や作り方を確認できる。デザイン性と機能が評価され、「グッドデザイン金賞」、「JIDA(ジダ)デザインミュージアムセレクション」など、たくさんの賞に輝いています！

素人の感覚を大事に、家での何気ない会話、お客さんとの雑談、他業界の人の意見などから、新商品のヒントを見出すのだそう。これからも、ミシンで手作りの楽しさを広げていきたいと、二人の意気込みは十分だ。

大栗紙工株式会社

社長 大栗康英さん



必要とする人がいるなら
小さな声にも応えていきたい!

めざすは誰もがこちよく使えるノート!

年間約2,700万冊ものノートを製造する大栗紙工株式会社。大手文具メーカーからの受託生産を主事業として、技術力と品質へのこだわりで高い信頼を得ている。

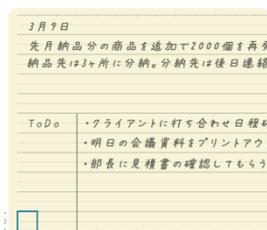
2020年2月、初のオリジナルノートとして「mahora(まほら)」シリーズを発売。ふとしたきっかけで、ノートの「紙の白さがまぶしい」、「日付欄など線以外のものが気になって集中できない」、「いつの間にか行が変わってしまう」など、発達障がいのある人からの声を知り、50年間ノートの生産に携わってきたこの会社だからこそ役に立てることがあるならと、新しいノート作りに挑戦することに。

色の帯が入っている
タイプ



①しめじは小皿に分け、
エリンギはひと口大に切る。
②ベーコンは7cm幅の麺冊切りにし、
小皿では小口切りにする。

太線と細線のけい線
が交互に入っている
タイプ



障がいのある人の声を反映してできたノートは、シンプルだからこそ一人ひとりに合った色々な使い方ができ、結果的にたくさんの人にとって使いやすい“ユニバーサルデザイン”のノートとなった!

支援団体の協力で当事者約100人からアンケートをとり、その声一つずつを反映しながら試行錯誤を繰り返し作り上げた。発売後も、「こんなものも欲しい!」という新たな声に responding しているうちに、mahoraシリーズはたった1年で色・形違いの36種類にも増えた。

ノートを使った方から、「字のバランスがとりやすい」、「子どもがノートをとるようになった」など、たくさんの喜びの声が届いたのだそう。「自分たちの作ったノートを、喜んで使ってくれているのが何よりうれしい」と大栗さんは笑顔で話してくれた。



▲ タイプはセミB5ノートのほか、小さいサイズのノートやA4サイズのシートもある。

2021年3月号